

県が緊急事態宣言



県独自の緊急事態宣言を発表し、不要不急の外出自粛を呼び掛ける玉城デニー知事＝31日午後7時40分ごろ、県庁

新型コロナ

警戒「感染流行期」

本島全域、外出自粛を要請

玉城デニー知事は31日、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、県の警戒レベルを第3段階「感染流行期」に引き上げ、県独自の緊急事態宣言を出した。同宣言は4月に引き続き、2回目。8月1日から15日の間、沖縄本島全域で不要不急な外出を自粛するよう要請した。さらに県民に対し、県外と沖縄間の不要不急な渡航も自粛するよう要請した。県外からの来県は慎重に判断することや、本島から離島への移動も最小限にするよう求めた。那覇市内の飲食店は営業時間を午前5時から午後10時までとするよう求めた。対象は約3千事業者で、協力金10万円を支給する。

玉城知事は「本県は島嶼県であり、限りある医療資源に鑑み、警戒レベルを第3段階に引き上げ、県民の生命・安全を必ず守り抜く決意で防疫体制の強化を全庁挙げて取り組む」などと述べた。

県は同日、新たに71人の感染が確認されたと発表した。感染者は5日連続で過去最多を記録している。行政検査295件で31人の陽性、保険診療で40人の陽性が確認された。県発表を合計すると感染者数は395人となった。

県はこれまでクラスター（感染者集団）が発生している那覇市の松山地域の一部に店舗を構える接待・接触を伴うスナックなどと同期間、休業要請を実施することを決めた。応じた事業者には協力金20万円を支給する。